夕刊

六月六日
發行兼編輯印刷人 伊藤隆次
福島縣小名濱町古港一
發行所 常磐新聞社
日曜祭日翌日休刊
一部二錢 一ヶ月五十錢
廣告料 一行 五十錢

◆支局所在地◆
平町南町二一番地
四倉町停車場通り
湯本町新校舎前
植田町驛前通り

常磐時評

寺院と云ふ所は吾等の父祖代々の遺骸と靈魂を宿す所で、又何人も必らず一度は行く所である。爲めに寺院に對しては尊敬と本當の人間味を見せる靈場となつて居る。その靈場たる寺院を守護する住職は、人の道を說き、身を以て範を垂れ生きた亡者を極樂淨土に誘導するのが天職であり、使命としなければなるまい。其處に初めて住職僧侶に對する尊敬があり、信賴が生れるのである。而して何時死すも意に介せず、安神して業に勵む事も出來るのである。

その人間界濟度の重大なる要職にある僧侶が、近來大部レベルが下り、俗人以上の黙心を社界の表面に暴け出してゐる。爰に一つの現れとして例を擧げるなれば、平町の松堂院、性源寺の兩住職たる宍戸氏の如きその最たるものである。彼宍戸氏が如何なる辨解を試みるとしても、淨土界を汚した一壯漢が形相物凄く『館長貴樣よくも俺の營業を妨害したな』『今日こそは相手にするものがない狀態』と竟丈で以前にも出刀を揮つて隣高に惡罵を浴せ、居合せた人を追ひ廻した事もあり、記者の目前も構はず暴行の事實やりねない男とその性格をよく知る人々には實に驚嘆すべき事件と恐れられてゐる。

昨五日午後二時半頃幼兒群れ遊ぶ平和そのものゝやうな隣保館へ野良着にハチ卷姿で、スコップを揮つて亂入した一壯漢が形相物凄く『館長貴樣よくも俺の營業を妨害したな』『今日こそは相手にするものがない狀態』と竟丈で以前にも出刀を揮つて隣高に惡罵を浴せ、居合せた人を追ひ廻した事もあり、記者の目前も構はず暴行の事實やりねない男とその性格をよく知る人々には實に驚嘆すべき事件と恐れられてゐる。

童心天國

江名隣保館に旋風

突如 生命の危機に直面

大瀧館長辭表提出

驚嘆すべき奇怪事件勃發

江名町が縣下に誇る社會事業施設として昨年八月開設された江名隣保館は創立後日淺きにも拘らず現在多忙な母親を持つ漁村の幼兒百五十余名を收容し慈母の如き三名の保姆により貧困兒童保護並に幼兒保育に顯著なる成績を擧げ好評嘖々たるものがあることは、隣保事業に關心を持つ人と否とを問はず社會須知の事實であるが、突如兇暴性を帶びた一村民のため童心を育くむ花園が完全に荒され館長以下職員は、生命の危機に堪へられず辭表提出するに至つた昭和聖代にあるまじき戰慄すべき奇怪事が平和な漁村を脅かしてゐる。

兇器を揮つて亂入

『館長を叩き殺す』と

制止する實弟と大格闘

昨五日午後二時半頃幼兒群れ遊ぶ平和そのものゝやうな隣保館へ野良着にハチ卷姿で、スコップを揮つて亂入した一壯漢が形相物凄く『館長貴樣よくも俺の營業を妨害したな』『今日こそは相手にするものがない狀態』と竟丈で以前にも出刀を揮つて隣高に惡罵を浴せ、居合せた人を追ひ廻した事もあり、記者の目前も構はず暴行の事實やりねない男とその性格をよく知る人々には實に驚嘆すべき事件と恐れられてゐる。

暗夜の晩もあると捨臺詞を殘して立去つたものであるが、同人は同町字江名坂本菜で彼の平素から狂暴振りは全町に知れ渡り村では相手にするものがない狀態で、過般來より寄り〳〵協議中であつた錦村の劇場工事は愈々先日其の筋より認可があつたので近く工事に着手するが總工費四千圓で請負人は秋山市藏氏であると

原因は道路問題

新設工場へ貸地契約した

タイラント坂本が押す横車

事件の原因は隣保館に隣接した土地を所有する坂本が最近に至り塩釜市煮干肥料業阿部善治氏との間に貸地契約を結び、阿部氏は直ちに大敗地に工場建設に着手したが元々隣保館を建設するには事業の趣旨より同町方面委員が、トラック等の危險なき場所を詮衡し態々奬勵に依り續々設立され現在三十一組合に上つてゐる是が一言にいふ社會主義者と云ふ人々なりし、全部は云はぬ迄も眼に見える共産主義者の人々のいでたちなりき、吾等は其れ等の議論に耳を傾ける迄もなくつまらぬことに骨を折る人々だと思つて居た。そして其事を解決するかに見ゆ二・二六事件の跡を見るに一切の理想は民衆の共榮と言ふ所に重點ありとして、左樣なる改革はたやすく行くも高く生れた廣田内閣のヤリクチを見ると、往年吾等ののにあらず出來るものにあらず、共榮主義の實現とはなる改革はたやすく行くも高く生れた廣田内閣のヤリクチを見ると、往年吾等のなる改革はたやすく行くも高く生れた廣田内閣のヤリクチを見ると、往年吾等の所に重點ありとして、左樣の政策殊に庶政一新の旗印崎卓吉氏なども文部大臣たるや未亡人は屋敷を賣る計畫をしてる、窮局する所有る人々から無い人々に分配することにオールバック氏等に因り不可能とせられたこと、即大共榮共榮と言ふ所に重點をおく事實やりねない男とその性格をよく知る人々には實に驚嘆すべき事件と恐れられてゐる。

振興土木事業費

割當決定發表

江名漁港を筆頭に

新川、鮫川改良費

今期特別議會を通過した東北振興豫算中の諸土木事業費は次の如く割當が決定五者を招き、設立促進及び新日縣に內指命が來た設組合の指導等を行ふ事となつた。

▲府縣道改良事業七十五萬圓うち國庫補助三分の一

▲中小河川改修(新川)六年繼續事業費廿萬圓十一年度支出額三萬五千圓(蛭田川)右同(田付川)五年繼續事業費十五万圓十一年度支出二万五千圓國庫補助二分の一

▲府縣砂防工事々業費九萬圓鮫川筋と松川筋國庫補助三分の二

▲地方港灣改良江名(江名漁港)五年繼續事業費廿九萬圓十一年度支出額入萬圓國庫補助二分の一

となり、來る十四日午前十時から平團体事務所に關係者を招き、設立促進及び新設組合の指導等を行ふ事となつた。

人絹景氣の錦村に

劇場建設

工費四千圓にて

過般來より寄り〳〵協議中であつた錦村の劇場工事は愈々先日其の筋より認可があつたので近く工事に着手するが總工費四千圓で請負人は秋山市藏氏であると

山間部産組勸奬

設立協議會

十四日平町で

石城郡下の産業組合は縣の奬勵に依り續々設立され現在三十一組合に上つてゐる是が一言にいふ社會主義者と云ふ人々なりし、全部は云はぬ迄も眼に見える共三菱などの公達が兵隊に人の渡、永戸、三坂、上入遠野田人の各村には設立を見てゐないので、縣ではこれら各村にも是非設立させる事

「社會主義が讀んで字の如くなら」

吾等は以前オールバック無精ヒゲ、垢附きたる着物素足、といふいでたちの人を見る時に主義者と叫び本人も共の意志表現にそういふ樣子をしてゐたようだ。

云はぬ迄も眼に見える共三菱などの公達が兵隊に人の渡、永戸、三坂、上入遠野田人の各村には設立を見てゐないので、縣ではこれら各村にも是非設立させる事

變狀異態

不義の妻を種に

三百圓を詐取

念入に三名より告訴され

前科二犯の横田送局

過般平署に檢擧され留置取廿圓を請求現金廿圓を受取つた外八十五圓の借用証書を書かせ三日程して二十圓調中の田村郡御立村大字下枝生れ當時平町材木町松葉館事井上菊松止宿無職前科二犯横田淺吉(三三)に三名から告訴狀が提起され六日詐欺恐喝暴行罪で送局されたこれは昨年七月中五人目の妻として小名濱町上明神町三三大和田美代(二七)假名と結婚同棲一ヶ月余で離緣したが姙娠八ヶ月の身重で本年二月廿七日戻り三月中旬分娩したが此の子は美代が前に女中奉公をして居た小名濱町上町魚肥製造業丹野杉太郎(五七)と數回關係した爲め出來た子供であるから四月中旬丹野方に行き詫狀一冊を取り血液檢査の結果お前の子と確定したので酒井、千葉兩辯護士を代理人に子供引取の訴訟を提起したから金を出せ』と五十代をと十五圓、辯護士料百圓、取下げてやるから印紙代をと十五圓、辯護士料百圓、懲役三年未決拘留卅日

鐵路に他殺死体?!

常磐線錦村地內に

旅客車にふれ頭部を紛碎即死

メイテイして鐵路彷徨の男

酒は身を亡すとは確かに本當である—自殺しようと鐵道を枕にする人間もあるが此は氣の毒にも文明の機に殺ろされた男……

常磐線勿來—植田驛間錦村地內鐵橋上に去る四日午後七時五分植田發上り旅客車に觸れて頭部を紛碎され即死して居るのを發見植田署に急報した、係官及前田醫師現場に急行檢死の結果此は青森縣三戸郡名久井村大字下名久井生れ人夫高森仁太郎(四五)で同日午後より植田町某飲食店で豪遊?を極め醉眼朦朧鐵路を徘徊中列車に觸れ即死したものと判明、死体を家人に引渡した

植田校で兒童に害蟲驅除實施

六日植田小學校に於て全敎部落を分擔して農作物又人畜の被害を防ぐ爲め害蟲驅除を實施した

愈々今日開く

磐陽野球戰

榮冠果して何處に?

第十回磐陽野球大會は愈々今六日から二日間磐城中學校外二球場で行はれるが朝日新聞社優勝旗を目指す參加八チームの闘志は燃えて明日

今晩 北西ノ風曇後晴
明日 西北ノ風晴夕立模樣
氣壓=七百五十一粍五

濱だより

六月五日
小名濱魚市場調査

魚名	魚種	高	單	價
平目		五〇貫	一、七〇—一、八〇	
小タイ		八〇貫	二、七〇—三、五〇	
スズキ		三〇貫	二、二〇—三、三〇	
小タラ		三〇〇貫	一、五—	二〇
鰯		三〇ケ		二、〇〇
石タイ		一〇貫		一、一〇

◇天氣豫報◇
北西ノ風曇後晴
西北ノ風晴夕立模樣

◇支局だより

六日川部村役場に於て菊田方財務協議會を開催した

×××

來る九日植田町臨時町會を招集し縣稅漁業稅に關する件を附議する

江名校体操會

江名小學校では昨五日午前九時より同校々庭で体操講習會を催した

弟殺しに

原審刑

宮城控訴院で

特報

出漁鰹漁船無電放送漁況

本縣船沖合漁況(六日)

船名 漁場 水溫 漁獲物 記事
縣下船漁獲なし

沖合一般況漁 最多獲船 最小獲船
平七丸 青ケ島 廿一度 九千尾
福吉丸 トクシマ 廿四度 二千尾

衛生材料・治療器具・
御用命は 白石藥舗
きゝめでたい病藥 妙淋丹 十日分 三圓
販賣元 小名濱中島通り 電話33番

開店御披露
毎度御引立を蒙つて居ります
平町 末廣の支店 を開設いたしました
所は……公園の閑雅な高臺
味は……江戸一流料理人の腕の冴え
皆樣の御出でをお待して居ります
小名濱公園地內
江戸前 鳥料理 はまや
モシモシ 電話百二十番

內臟外科 一般外科 レントゲン科
北川外科
平町新川町(諸橋醫院跡)
醫學博士 北川芳夫
(血液檢査毎日) 小林良次
イツデモ入院デキマス
電話四六四番

鐵路に他殺死体?!

常磐線錦村地內に

旅客車にふれ頭部を紛碎即死

メイテイして鐵路彷徨の男

酒は身を亡すとは確かに本當である—自殺しようと鐵道を枕にする人間もあるが此は氣の毒にも文明の機に殺ろされた男……

常磐線勿來—植田驛間錦村地內鐵橋上に去る四日午後七時五分植田發上り旅客車に觸れて頭部を紛碎され即死して居るのを發見植田署に急報した、係官及前田醫師現場に急行檢死の結果此は青森縣三戸郡名久井村大字下名久井生れ人夫高森仁太郎(四五)で同日午後より植田町某飲食店で豪遊?を極め醉眼朦朧鐵路を徘徊中列車に觸れ即死したものと判明、死体を家人に引渡した

江名農繁休校

江名町小學校の農繁期休校は來る十日より廿三日までの二週間實業學校は、八日より廿二日までと決定した。

×××

來る九日植田町臨時町會を招集し縣稅漁業稅に關する件を附議する

◇支局だより

六日川部村役場に於て菊田方財務協議會を開催した

社告

平支局詰 木戸田廣壽
右ハ神出鬼沒ノ狀態デ社務ニ服セズ依テ退社セシム
以後本社ト何等關係ナシ。
右社告ス
六月一日
常磐新聞社

論叢

公益質屋の使命と實際論

小野英哲

（一）

一、融資機關の價値

公益質屋の持つ金融機關としての役割を論述するならば順序として、現在に於ける經濟的客觀狀勢と大衆の生活、所謂資本主義經濟つ職能は企業資金調達に於ける銀行營業の如き性質の組織並に其の機構内に營まれてゐる幾多の產業と、それに依る生活の段階と過程とを述べて融資機關としての公益質屋の發祥をも述べねばならぬものであるがこゝでは單に現質化してる融資機關としての存在意義と利用價値とを述べたいと思ふ。

ブルヂョアー金融機關たる銀行、或ひは庶民金融〻銘を打つても融資範圍に制限を加へられてる無盡會社並びに信用組合等と、相對的に獨自な立場に在る公益質屋は、プロレタリア融資機關として經濟市場に有意義を持つてをるのである。

不動產擔保を融資の原則としてをる銀行、及び會員組織に依る連帶責任性を持つて融資してをる無盡會社並びに信用組合等は融資の普遍性を種々なる條件のもとに減殺してをるのである。

そうした條件を持ち合せ得ない階級者の爲めに、公益質屋の存在は唯一の簡易なる融資機關として充分に其の機能をよゝ高度に働かしてをるのである。

そこに社會事業的內容を多分に包まれてをり、社會施設的重要さを公益質屋の存在に發見出來るのである。

資本集中の傾向が過速的に成り、中小商工業者並びに勞働一般大衆の生活がそれに比例して疲勞困憊の極に置かれつゝある。現在の組織下に在つては、生產資金若しくば生活資金を容易に融通し得る機關の設置として、公益質屋の在る事は一面に於いて資本主義が產んだ不德なる高利貸の自然製裁ともなり、疲勞困憊せる一般大衆の活素たる意義に於いて極めて有意義なる一寸女の顏を見た、涙を一ぱいにして、道惠はすゝり泣いてゐた、その瞳は處女のようないぢらしさで、ちらッと怨めし氣に重男を瞰た

『ちえッ泣き虫、又泣いてらあ、何もお前を嫌だと云つてるんぢやないだらう』

『だつて嫌いだつていはぬばかりのいゝ方ぢやないの』

『それはお前の僻みだよ、俺は自分を怨む事はあつても君を怨んだり、憎んだりした事は一度もないよ』

道惠は顏をあげてチラッと微笑んだ

妾し靜岡なんだけど台灣に永らく居たので高雄市ならよく存じてゐますハ、東京にも居りましたの、東京へ歸りたくないですか、東京ですつて!!東京へ歸つて懷しの銀座をふむ、彼女のハイヒール、さぞやうれしかろと云ふ俺れ達のお世辭

『此處から乘つては危險だから、次の驛から乘らうと思ふの』

濃紺のコートに頭からスッポリとベールを冠つて道惠は急ぎ足に歩きながら云つた、重夫は——動もすれば沈み勝ちになる心を、無理に引立てゝ彼女の後ろに續いてゐた

『うむ、その方がいゝね——歩つて行くのかい』

『だつて自動車になんか乘つて、若し知つてる人にでも見られたら困るでせう——』

『うむ、それもそうだね』

『だから、すみませんが貴郎も次の驛まで送つて頂戴』

『あゝ、いゝよ、だが二里半はあるから、それに夜道だし隨分かゝるよ』

『そうね、でも仕方がないわ、十時までには行けるでせう?』

『うむ、で何時の列車に乘るんだい』

『明日の朝一番』

『——おい、又自動車が來たぜ——』

『顏を見られないようにね』

『ちえッ、嫌んなつちやうな、まるで犯罪人だ』

ぶつ〳〵云ひながら道の端つぼへ寄つて自動車をやり過ごした

『すみませんわね、みんな私が惡いんだわ、どうせ貴郎は私の事など何とも思つてやしないんですわ、だから、私いつそ默つて行つてしまおうと思つたんだけど——』

俯向いたまゝ、道惠はさびしそうに云つた、重男は

へどの樣な苦しい事、悲しい境遇に會つても、場合に依つては齒を食ひしばつて堪えねばならず、時としては悲しみを笑ひにさえ換へるべき男の立場を、女には判らないのだらうか、お互に、ちぐはぐな心を抱いて二人は、何十分か默りこくつて歩き續けた。

紅燈便り

小說

中篇小說

第二の抱擁（4）

横山しの夫

上京

『それにさ、往來の眞中で泣き出す奴があるかつてんだ』

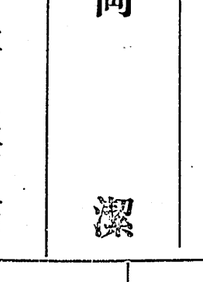
『馬鹿だからだわ』

『まあそう怒るなよ奥さん』

『誰の奥さんですの』

『田村の、ではない僕のさ』

『貴郎は私を馬鹿にしてるんですわ、故意といやがらせを云ふんですわ、貴郎が私との問題を眞劍に考へていらつしやらないから、そんな冗談かいへる丈けの餘裕が有るんですせう、きつとそうですわ女つてどうして斯う愚痴っぽいのだらう——苦しい時は呻き、悲しい時は直ぐ嘆き、感情の走るが儘に己れの心を外に現はして憚りのない女性の單純さ、だと



『まあそう怒るなよ奥さん、愛する人が出來たら、うんと愛して上げますワ、わたしの体など、どうなつても病氣でくづれてきたつて……かまはない、彼氏の滿足を得ればそれでいゝのよ、何んと文學的な言葉であらう

『美子さん、彼氏の事でも話して呉れないか、彼氏のことですつて、そんな方まだありませんけど、若し

お惱ましや惱ましや……彼女はお乳のふくらみ双手におさへて、眉をひそめて嘆くのである。

◇

美子は洋子、マリ子嬢の精一杯のサービス、そのゆたかな青春とエスプリが思はれ、それは僕等の精神にも豊に流れよと念じたのであつた。

◇

天然敢然クワを下した新天地、小名濱に好評絶讃の初歌のヴァラエティ!!カッ

俳句

甚六

太陽がせゝらぎに飛び込んで——初夏の眞晝

何もかも捨てゝ裸になつた時——暖かい愛情の衣

朝日が輝いてラヂオ体操に眼が覺め——今日の仕事

亂れ飛ぶ

太與

投稿歡迎

△陰鬱な梅雨も上つて明るい初夏の陽光と共に小名濱町には非常時下青年の身心鍛練は××よりと同じスローガンで柔道角力兩協會が同時に結成されて一体どちらに入つたらいゝものか——僕は迷つてゐる、兩方發起人の齋藤四段よ、挺身啓蒙されんことを（双葉山）

× ×

△しばらく御無沙汰しましたが、みのりの八重ちやん節ちやん、冷ちやん、文さん、お變りありませんか？（長勢丸乘組員）

△ヱー安兵衛……忘れないでもらいたい、飲心地のよい安兵衛、諸嬢よ好期逸するな……か……れ……

原稿募集

俳句、短歌、童謡詩、コント、隨筆小說、紀行文

右の原稿を募集します題は隨意ですが創作に限り飜譯は採りません但し紙上匿名は自由なれ共原稿の終りに住所氏名を明記すること、無名原稿は揭載致しません種類を冠頭に朱記する事

選者 編輯局選

祝湯本支局開設

湯本信用無盡會社
矢內自動車部
磐城炭礦株式會社
入山炭礦株式會社
品川白煉瓦株式會社
湯本溫泉旅館料理組合
湯本消防組
湯本自動車商會
鯨岡潔
熊上洋服店
湯本二業組合
湯本驛長
渡邊長作
森文雄
仙臺屋洋品店

技術流行型揃安價敏速に御注文に應ずる
皇恩會 小松洋服店 平町才槌小路十二 小松正治

外科專門・レントゲン科
上田外科醫院 病室の設備有り入院應需 平町南町

內科・外科（內臟外科 整形外科）
花柳病科・皮膚科
泌尿器科
小名濱町仲町 石井醫院 電話十八番

貨物の御用は
磐城海岸軌道線指定
江 小名濱運送株式會社 電話一〇六番
江名濱出張所 電話一二八番
泉驛出張所 電話五番

曳前のお知らせ
家屋其他動產の移動少しの損傷もさせないで曳前の御依賴に應じます
御希望の方は一應御相談下さい
小名濱町築町（築港地內）
三崎組 北村芳藏

耳鼻咽喉
毎週月、水、金、午后五時出診
小名濱分院 小名濱町中町小學校前
大和田耳鼻咽喉科醫院 本院平南町（電一七〇）

⊙入院室、手術室設備あり
產婦人科內科
森口醫院 岩手醫學士 森口德郎 小名濱町舟引場 登肥所先キ

開店披露
大、小、自動車修繕一般
迅速、叮嚀、廉價、親切、
赤津自動車修繕工場 小名濱町中丁南裏通り

花は櫻酒は三河屋
芳醸の美酒香久山を召上れ
銘酒『香久山』三河屋酒店 小名濱町 電話二六番

葉藤觀賞會
御客樣へ謝恩
見よヤスベヱの錦上名花を添へた好個の催し
初夏の味覺の豪華版
是非交響樂の殿堂！
カフヱー ヤスベヱ
御待して居ります

館旅泉鑛屋勇
館理旅料御
男義野河主館
江名町 電話一一〇番

呉服類は……
樋口呉服店 小名濱町中島通り

御旅館 江名濱港
御料理 小西屋支店
御待合 電話新設中 百十九番